

葉山町子育て支援センター ぽけっと 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色1493-1 TEL: 046-876-4152

室内干しにするか、外に出すか。天気予報を信じるか、勘に頼るか...悩める季節です。

6年生の息子は、たった2、3着の服を着回しているのに、毎日の洗濯は欠かせません。幸い速乾性の物が多く助かりますが、他にもあるのにわざわざ畳んだばかりの洗濯物の中からひっぱり出して繰り返し着るので、傷みも汚れも早く訪れます。片やタンズに溢れんばかりの娘と比べれば、お金もかからないし無駄はないので助かってはいるのですが...

1、2歳の幼い時期にも、身につけるものを自分で選び始めるお子さんがいます。お母さんはその日の天候や予定に合わせて用意しているのに、それではなくてこっちがいい!と、ガンとして譲らない。言えはうほど頑固になり、親も意地になってしまふ。お出かけ前の気分が一気に盛り下がり、なんとなく一日がどんよりとしてしまふ...なんてこと、ありませんか?成長して意志が出てくれば、好きな物、やりたいこと、そうでないことなどを自己主張するようになるのは当然のことでもありますし、喜ばしいことです。それが、親の思いと合致すれば、こんなに楽なことはありません。しかし、そこが難しい!身につけるものは、自分が心地よいかどうかです。それでモチベーションが上がったり下がったりする気持ちは、よくわかります。大人ならば、流行や季節、TPO、なども加味したうえで気に入った物を選びますが、しかし子どもは違います。気分重視!多少季節外れでも、いつも一緒といわれても、お母さんの気分に沿わなくても!ご機嫌でいられるかどうかです。

冬の寒い日に真夏のような薄着をして来たお子さんのママが、「寒いと思ったら次から考えるかな」と思って、それより機嫌良くいてくれれば... (苦笑)とおっしゃっていました。同感です。お子さんはそれだけでは意外と風邪をひかないものです。衣服に限らず、お子さんの希望とお母さんの思いと合致しないとき、「命にかかわることか」「人に迷惑をかけることか」などなど、お母さんなりの最低基準は押さえたうえで、お子さんの主張に柔軟に耳を傾けてあげると、お子さんも柔軟になってそんなに頑なに主張しなくても済むようになるものです。逆に親の思いを押しつけようとすると、他のことでも無茶な主張をしたり、お母さんの言うことを聞いてくれなくなったりする場合があります。その方がやっかいなことになったりしますよね...

お母さんが一歩引いて晴れマーク、お互いに譲らず雨マーク、どちらにしますか?

センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)

7月の予定

◆ 楽しいこといいこと ◆

「ふれあい遊び」毎日 11:00-11:30

<毎週水曜> えいごで遊ぼう

(松本ようこ/加藤りみ 先生)

<第2第4木曜> おやこダンス (近ゆきこ先生)

◆ 「0歳児つどいの広場」毎週木曜 10:00-11:00

7月の開館時間

◆ 開館時間 9:00-17:00

※広場の開放時間は15:00迄、子育て相談・一時預かり・ファミサポ・2F多目的室のご利用は17:00迄です

◆ 休館日 日曜・月曜・祝日

※お盆も変わりなく開館しています!

◆ 職員会議・研修 7/17(木)

※広場・一時預かりのご利用は14:00迄になります



一時預かり
ぷちのお部屋から



誰かにとっての特別な「我が子」

はじめまして。6月から木曜日のぷちを担当しています。苗字がくればやしなので、「くれ先生」と呼んでもらっています。昨年、保育サポーター養成講座を修了し、ファミサポの支援会員になりました。また週1回パートタイムで、風の子保育園で仕事をしています。

私には三人の子どもがいますが、見事にみな性格が違います。心配するポイントも、「うちの子、すごいわ!」と思う親馬鹿ポイントも、三人三様です。だけど、どの子もすごく愛おしく、かけがえのない我が子です。

ぷちにやってくる子どもたちはみな、誰かにとっての特別な「我が子」。そう考えると、「愛情をもって、大切にお預かりしよう」と、いつも身の引き締まる思いがします。ぷちで過ごす時間が、安心できて、楽しくて、そして願わくば子どものこれからの育ちに、何かプラスの影響を与えることができるような、そんな保育ができたかと考えています。どうぞよろしくお祈りします。

私のお勧めの本は、小学館の図鑑

NEOシリーズです。調べる時に読むのはもちろんですが、読み物としてもとても面白いです。ぜひ手に取りやすい場所に置いて、子どもが興味をもったところを、かみ砕いて読んであげてくださいね。



◆ 紅林 優子 (くればやしゆうこ=くれ先生) ぷち 担当 ◆



ぽけっと
事務から



悪かったと思ったら素直に子どもに謝る

1月から木曜日と金曜日の事務を担当しています、なかまさこです。早いものでぽけっとに来るようになり5か月。子ども達の可愛い笑顔と、子育て奮闘中のお母様方の姿に元気をいただける幸せな職場と思っています!

私には高校生になる息子が一人います。私の試行錯誤ばかりな子育ては終盤とはいえまだまだ継続中ですが、今までを振り返ってみて心がけていて良かったと思うこと一つがあります。それは、私が悪かったと思ったら素直に子どもに謝ること、です。初めての子育て、失敗だってするわ!と開き直りつつも、息子の気持ちをちゃんとくんでいなかったなあ...とか、ちょっと叱り過ぎたかも...など私が悪かったと思ったら子どもは私の目をみて「ごめんない」と謝りました。小さい時の子どもは私に謝られると一人前に扱われた満足感からでしょうか、穏やかな様子で「いいよ」と健気に許してくれました。今は思春期の難しい時期ですが、息子も悪いと思ったら謝ってくれます。(謝るならするなって思うくならないことも多々ありますが...)

ぽけっとに遊びに来てくださる皆様には「ごめんない(失敗)」をしないように気を付けます^^; 皆様がぽけっとは居心地がいいからまた行こう!と思っていただけることを目標に頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。

◆ 中 昌子 (なかまさこ=まさこ先生) 事務 担当 ◆



ぽけっと

自分らしい子育てを見つけませんか？

- ぽけっとで子育て支援プログラムを開催します -

「子どもをかわいいと思えない・・・」「他のお母さんは上手に子育てをしているのに・・・」
 初めての子育てに悩みはつきもの。悩みを乗り越えてこそ、一人前の親になっていくのかもしれませんが。
BPプログラム&NPプログラムは、それぞれの想いに向き合い、仲間とじっくり考えることで、
 自分らしい子育てを見つけたいけるように開発されたプログラムです。自分や仲間どうして問題を
 解決していくステップを体験できます。**山浦彩子**と**上野祐子**が**ファシリテーター**としてお手伝いします。

BPプログラム

対象
2～5ヶ月
の親子
(第1子)

母子参加

全4回
7/15～8/5
毎週火曜日
10:00～12:00

参加費
1000円
(テキスト代)

詳細は館内ポスターを
ご覧いただくか、または
事務室にお問い合わせ
ください。

NPプログラム

対象
1～5歳
の母親
(第1子)

託児つき
(1回500円)

参加費
1600円
(テキスト代)

全6回
9/5～10/10
毎週金曜日
10:00～12:00

子のこころ 親のこころ ～子育てをこころの発達から考える～

子どもを信じること・・・どこまで黙って見守れますか？

先日、高3の娘をもつ受験生の母たちが久しぶりに集まってランチをしました。皆口々に「娘がいかに怠けて勉強しないか」を訴えて、日頃我慢していたうづぶんを晴らしました。子を想う母のあたりまえの気持ちですが、娘たちが知ったら「余計なお世話！」ときっと憤慨したでしょう。経験豊かな大人からは未熟で稚拙に見えても、彼女たちは彼女たちなりにがんばっているのだから。なにより親の人生ではなく自分の人生なのだから・・・。

思春期に限らず、子どもの自我の成長には「親に指図されてではなく、自分で考えてやってみる」経験が欠かせません。繰り返しそうすることで自分なりの価値観がつけられていき、自信となって親から自立していきます。親には「成功しても失敗しても、子どもを信じて見守る(あいのまますを認める)」姿勢が求められます。失敗したときこそ、自分で考えるチャンスなので、注意したり責めたりしない。『あなたなら大丈夫』と勇気づけると、子どもは失敗から学んで、再び挑戦していきます。将来のことを案じるあまり、先回りして「勉強しなさい」と口出しすることは子どもを信じていない証拠。やる気をなくさせてかえって逆効果になるものです。

よちよち歩きの頃、子どもが自己主張を始めて自立の第一歩を踏み出したときから、親はあまり先回りして心配したい指示したりしない方がいい。それが子どもを信じること。親が安心だから、望みどおりにしてほしいからと、口出しして過干渉になっていないか。折々で我が身を振り返ってみる必要があります。どこまで黙って見守るのか・・・幼い頃から何かにつけ子どもの世話をしてきた母親ならではの迷いなのかもしれません。子を想えばこそとはいえ、ついつい口出ししたくなるのを我慢する日々はストレスが溜まります。大袈裟かもしれませんが、一人前の親になるための修行かと思うことも・・・そんな葛藤をする子育ての「同志」として、中学入学以来の付き合いである『母たちの女子会』は、美味しい料理に舌鼓しつつ、いつもお互いのがんばりをたたえ合う貴重な機会になっています。思いきりお喋りしているうちに、「それでもいいのかも」という気持ちになってくるから不思議です。そして、我が子のことでないと意外に冷静になれるの・・・と、親子の複雑な心境にあらためて想いを馳せるのでした♪

◆上野 祐子(うえの ゆうこ) 副センター長・心理相談担当 ◆

